

米の生産コスト低減に向けた取組について（令和5年度実証事業）

令和5年度『稲作農業の体質強化に向けた超低コスト産地育成事業』取組事例

- 事業実施主体：愛知県米トータル生産コスト低減対策協議会（県、4市町村、JA、農業者（5経営体）等）
 - 水稲作付面積：148ha（R5年度）

コスト低減効果：R2年度 14,082円/60kg
 ⇒ **R5年度 11,019円/60kg (▲3,063円/60kg)**

- 主な取組内容【R5年度】（取組2年目）

技術実証に係る取組

『V溝直播＋止水板＋水位センサー＋自動給水装置』

⇒ 育苗時間削減、作期分散による生産性向上、
 水管理見回り回数減少による労働費の削減
 (慣行：3.9回/週 ⇒ 設置後：1.7回/週)



『AgriLook（生育予測診断システム）＋衛星画像診断』による適所施肥

⇒ 生育不良圃場の把握により、追肥ほ場では、単収が向上
 コシヒカリ 追肥なし：466kg/10a、追肥あり：528kg/10a
 あいちのかおり 追肥なし：565kg/10a、追肥あり：640kg/10a



生産コスト分析、人材育成に係る取組

- コンサルタントによる
 - ✓ コスト・経営分析
 - ✓ コスト低減・経営改善指導研修
- 生産者の
コスト意識向上

生産コスト低減の検討、成果普及に係る取組

低コスト生産のための改善検討会の開催、取組成果報告会の開催

- 事業実施主体：佐賀県産米生産コスト低減対策協議会（県、3市町、農業者（5経営体）等）
 - 水稲作付面積：73ha（R5年度）※中山間地を含む

コスト低減効果：R4年度 13,294円/60kg
 ⇒ **R5年度 12,313円/60kg (▲981円/60kg)**

- 主な取組内容【R5年度】（取組1年目）

技術実証に係る取組

『ドローン播種』

⇒ 種まき、育苗、苗移動、田植え時間の削減
 (慣行：228分/10a ⇒ 実施後：55分/10a)



『水位センサー』

⇒ 田植え前水管理、田植え後水管理時間の削減
 (慣行：150分/10a ⇒ 実施後：37.5分/10a)



『ラジコン草刈機』

⇒ 堤、畦畔の草刈り時間の削減
 (慣行：40分 ⇒ 実施後：28分)



『ロボットトラクター』

⇒ トラクター作業時間の削減
 (慣行：90分/10a ⇒ 実施後：45分/10a)



生産コスト分析、人材育成に係る取組

- コンサルタントによる
 - ✓ コスト・経営分析
 - ✓ コスト低減・経営改善指導研修
- 生産者の
コスト意識向上

生産コスト低減の検討、成果普及に係る取組

低コスト生産のための改善検討会の開催、取組成果報告会の開催



- 米の生産コスト低減により、
- 主食用米の米価変動に耐え得る生産
 - 輸出等の新市場開拓用米の可能性を拡大

- 今後の課題
 主食用米の生産を集約し、他作物の生産を拡大